

広島県警と連携して交通事故防止などの啓発を実施

～反射材を使った交通事故防止と消費者トラブルの未然防止を呼び掛け～

日本損害保険協会中国・四国支部(委員長:中村 一樹・三井住友海上火災保険株式会社 執行役員)は、2月17日(火)8時から、広島県警本部交通部交通企画課および広島南警察署と連携して、広島駅北口ペデストリアンデッキにて交通事故防止啓発活動を実施しました。

啓発活動に際し、当協会中国・四国支部・藤中 麻里子 副委員長(損害保険ジャパン株式会社 執行役員中国エリア本部長)から、「当協会では、反射材を活用した交通安全啓発活動を行っている。広島の皆さまにも事故防止に役立てていただきたい。交通事故防止の他にも、悪質なロードサービス業者や災害便乗商法などの消費者トラブル防止も呼びかけましょう」と挨拶がありました。

啓発活動には、会員会社の職員約20名も参加し、「反射材付きチラシ」などの啓発グッズ約300セットを通行人に配布して、交通事故防止、消費者トラブルの未然防止を呼び掛けました。

当支部では、引き続き、広島県警や関係先と連携して、高齢者をはじめとした交通事故防止に関する活動に取り組んでまいります。



藤中副委員長の挨拶



県警職員と反射材活用推進キャラクター「キラリ☆マン」



啓発活動の様子



参加者の集合写真



配布した啓発チラシ（当協会）



配布した啓発チラシ等（広島県警）